

時局の保育、時局の影響

島根縣女子師範學校附屬幼稚園

本稿は以前に寄せられたものでございしましたが、紙数の都合にて今月號に掲載させていただきます。(記者)

A (時局の保育)

北支の戰雲急を告げるや、聯隊の所在地である當地に於ては殊の外緊張を續けておりましたが、程なく當聯隊も出動することになりまして、全町騒然たる中に極度に緊張致しました。夏休み中の事とて、我が園舎も出動準備の場所として提供しました。赤檉を掛けた幾多の應召兵、軍用自動車の右往左往、かくすること旬日ならずして形容の語もない程の感激裡に、出征兵士を見送りました。此の時から子供達の頭には如何に強く非常時局が認識された事でせう。此の秋、私達保育の任に當ります者の心すべきことは

一、非常時の爲に幼き子に烈しい衝撃を與へないやうに心して、天皇陛下の御稜威に輝く日本は有難い神國であ

るこの信仰を持たせること、忠勇なる皇軍將士の奮闘に信頼して、元氣よく楽しく遊び、きれいな強い心と體を養ふこと

二、事變の性質を子供なりに正しく理解させること

三、時局の種々なる相に觸れさせて、子供なりに其の情操を培ふこと

以上の様な観点から従來の保育を亂さないで、或は従來の施設の中に特に強調し、又新に加へて保育に資することにしなす。今其の特色あるものについて述べます

一、皇居遙拜

日夜事變の上に、國民の上に御心を御憐れ給ふ、天皇皇后陛下の御仁慈は申すも恐れ多いこととございます。此の御高

恩に對しまして心からなる感謝を捧げると同時に、兩陛下の御健康を祈つて毎朝東の空を遙拜致します。保姆も子供達も一つになつて、眞心こめて拜した後はすつかり心が落着いて、一日の生活が力強く感じられます。此の事は従來も行つて来たことですが、一層心して續けることに致しました。

二、神社參拜

園から程遠からぬ所に縣社石神神社があります。毎月一日と十五日には全園擧つて參拜することに致しました。日頃のいたづらつ子も、此の時は誠に眞剣な姿で眞心こめて國威宣揚と皇軍の武運長久を祈ります。

三、時局を認識させる

子供達は毎日新聞やラヂオで報ずる時局ニュースをかなりよく知つてゐます。殊に男兒は色々な事をよく知つてゐまして、日本軍は今何が爲に戦つてゐるか多少理解してゐる者もあります。更に一般幼兒に正しく時局を認識させる爲に、大きい支那地圖を作つて掲げました。子供

に分りやすく色附の鳥瞰圖にして、日本軍の占領した地へは戦況を子供達と話し乍ら日の丸の小旗を立て、行きます。

又大毎寫眞特報をとり、来る度に之を觀察させ、お話してやります。其の後に掲示板に掲げますと、子供達は色々話し合ひ乍ら向も詳しく觀察致します。其の他、毎日の新聞、子供の新聞等から資料を得て、應召美談、戰場美談、銃後美談等をお話してやります。併し幼児の心を傷ける様なむごいお話は避けます。それと共にどこまでも時局を正しく認識させると言ふことに中心を置いてゐます。今、日本は戦つてゐますけれど、之は支那民衆を相手にする戦ではありません、東洋平和を目指して悪い支那兵に反省を促す爲の戦でありまして、決して支那の人達を憎まぬ様、むしろかゝる國家に生れた彼等に同情して、速に迷ひの目を覺させ提携して平和な生活を營むことの出来る様に願はなくてはならないことを知らせます。

四、應召者の家族及戦死者の遺族慰

問、白衣勇士慰問、慰問袋作成

事變以來子供達のお父様の出征は七人でありませんが、彼の北支の山岳戦に於て既に三人の名譽の戦死を出しました。現在は四人のお父様方が彼の地に戦つて居られます。吾々保母は時々其の留守宅を見舞ふと同時に戦死者遺族の方々を見舞つて慰め勵ますことにしてゐます。幼児達は、戦地の兵隊さんや、歸隊してゐる白衣の勇士に送る折紙等を製作をして、慰問袋に入れて送りました。病院には幼児達の製作品を持つて、代表者数名が園長先生や保母の先生と共に慰問に行きました。家族慰安會には幼児の可愛い、遊戯も演出して慰めてあげます。

五、資源愛護

長期抗戦の止むなきに至つた重大時局をお話して、私達國民のとるべき態度を分り易く話してやりました。物を丁寧に扱ひ、粗末にせぬ様にと言ふことは平素から言つてはゐますが、更に幼児達の反省を促しました。又棄てる様なものでも、再生の出来るものは出来るだけ注意して

再生させなくてはならぬ事を理解させまして、幼稚園生活に於て紙屑や銀紙を集めることを早速實行にうつしました。

六、遊戯唱歌觀察談話手技

子供達の頭に浸みこんだ時局は、そのまゝ子供達の生活となつて再現されます。見る物、聞く物、歌にお遊戯に凡て時局のものを喜びます。子供達の要求にしたがつて、晩秋から年末にかけて久しく時局にちなんだ生活を營みました。

七、體育向上について

此の時局に當り、幼児達は何をしたら一番國の爲、君の爲になるかを話し合ひ、賢い子供になると共に強い體を作ることに必要を理解させました。

ラヂオ體操は平素から行つてゐることでありますけれど、皆が強い體になる爲にはもつと本氣でしようとお約束して、毎朝晴天には園庭で、雨天にはお遊戯室で曲に合せて元氣よく行つてゐます。お天氣には出来るだけお庭へ出て遊ぶ様にしてゐます。併しこれは私達が強ひてすゝめる必要もなく、子供達は雨さへ降

らなかつたらどんなに寒くても、外で元氣にブランコにシーソー、戦争ごっこ等をしてゐます。

氣候のいゝ頃ですと、一週一回の豫定で、近くの城山や町を一目に見下されるお宮のある丘、射的場、海邊の砂濱等へ園外保育を致します。

齒みがき訓練も消極的ではありますが、體育向上の一つとして食後實施致してゐます。幼稚園ばかりでなく、同時に家庭でも行ふ様に奨励してゐます。

その他、常の事ではありますが、衛生方面の注意を色々致しまして此の際特に皆が元氣に強い體になります様勵まし合つてゐます。

八、躑について

先づ私達は銃後にあつて、どんなお行儀の子になつたらよいか話し合つて次の事を約束致しました。

一、お父様、お母様の言ひつけを聞くこと

二、朝晩神佛を禮拜すること

三、我儘を言はないで少し位の不足を我

慢すること

食事は何でもよるこんでいたゞくこと

お家で着せて下さる着物、與へて下さる持物で満足すること

玩具や繪本を無理に強請らぬこと

四、物やお金を無駄に使ふことは慎しむこと

毎日もらふお小使は貯金箱(幼児製作)に入れること

いらぬ物を買はぬこと

紙を粗末にせぬこと

銀紙は集めて幼稚園へ持参すること

自分の持ち物、或は使用物は丁寧に扱ふこと

五、自分で出来ることは何でも自分でして家の人々の手間をとらぬこと

自分で着物を着ること

用具の仕末は自分ですること(カバン、ブック入・帽子・オーバー・手袋・マスク、クレヨン・欵・繪本)

玩具の仕末を自分ですること

女中を無暗に使はぬこと

六、出来ることはお手傳ひすること

お使ひをすること

お庭のお掃除、雑布がけのお手傳ひ

七、兄弟やお友達とは仲よくして何でも一緒にすること

一緒に遊ぶこと

一緒に遊ぶこと

仲よく一緒に遊ぶ。遊んだ後の整理は一緒にすること

B (時局の影響)

自由遊びに現はれたもの

平素でも軍事遊びを好みますが、事變以來特に目立つて來ました。男兒は演習帽をかぶり、鐵砲を持ち、聯隊旗を立て、毎日の様に戦争ごっこをします。突撃の後は築山や、杵登りに上つて鐵砲を上げ、旗を掲げて萬歳をします。室内では椅子をよせ集め、積木を使用して、大きい飛行機や、軍艦、大砲、トーチカ、サイドカー、タンク等をつくつて集つて遊びます。空になつた積木箱の中に、かくれては、塹壕だと云つて喜んでゐます。砂場でも、飛行機や、軍艦の形がつくられ、それに乘つて遊んでゐます。

女兒は國防婦人會員になつて、兵士にな

つた男児を見送つたり、看護婦になつて、負傷者を助けたりして、一緒になつて遊びます。時には女も兵隊だと言つて、鐵砲をかついで行進したりします。男兒と異つて射撃はしますが、突撃はしません。

又防毒マスクを作つて防空演習の真似もします。

二、自由製作に現はれたもの

子供達はボール紙を時々ねだります、自由に使へる様にしておきますと、日本刀、ピストル、水筒、飛行眼鏡、肩章等を作つて持つて遊びます。又新聞紙で、看護婦帽や演習帽をつくります。

次に幼兒の自由製作の統計を掲げますが、之は二日間に亘つて全園兒に、ボール紙、畫用紙、色紙、空箱、テープ、糊、等の材料を與へて自由に製作させたものです。

男兒(四十二名)	女兒(四十一名)
軍刀 二〇	日の丸の旗 二
勳章 五	兵隊の面 二
ピストル 一三	勳章 一
鐵兜 七	汽車 一

背囊	二	家	二
戰車	三	タンス	一
飛行機	三	人形	二〇
飛行船	一	ダットサン	一
手榴彈	四	ランドセル	一
兵隊の面	五	積木	一
軍旗	一	蝶々	一
青龍刀	二	果物	七
鐵砲	一	ハイヤー	一
肩章	二	星	一
落下傘	一	ヤクワン	一
兵隊さん	一	籠(空箱利用)	三
汽車	二	紋型切紙	四
鬼面	二	時計	一
家	二	折紙	二
ポスト	一		
貯金箱	一		
室内調度品數種	一		
紋型切紙	三		
折紙	九		
總計 九十二點		總計 七十一點	
軍事に關する 七十一點		軍事に關する 四點	
その他 二十一點		その他 六十七點	

三、繪畫に現はれたもの
自由畫と言へば、平素でも男兒は軍事的なものを好みますのに、事變以來殊に目立つて來ました。軍艦、飛行機、高射砲、大砲、戰車、装甲列車、トーチカ、城壁、城内等その繪は常に活躍したものです。盛に火を吐いてゐます、爆彈投下の様や、敵の飛行機が墜落する繪が最も多くございます。或る日の全兒の自由畫を統計にとつて見ましたから次に掲げておきます。

男兒(四十五名)	女兒(四十二名)
軍艦 二	室内遊び 二
戰艦 四〇	お庭の遊び 三三
飛行機 二	山遊び 六
タンク 一	川遊び 八
汽車 二	動物 二
風揚げ 二	家 三
山遊 三	お使ひ 一
富士山 一	雨降り 一
動物 一	初午 一
桃太郎劇 二	
總計 五十七枚	總計 五十七枚
軍事に關する 四十五枚	軍事に關する 無
その他 十二枚	その他 五十七枚

四、其の他

子供同志の會話及び、先生のところへ持つて来る會話は、昨年末までは、出征兵の見送のこと、召集兵を見たこと、負傷兵の歸つたこと、戦死者の遺骨を出迎へたこと、ニュース映畫を見たこと、新聞やラヂオの報道を聞いたこと等が非常に多かつたのですが、年新になつてからは、こんな事もございませんし、子供達の話も殆ど平素に復しました。

軍歌を非常に好みよく覚えて來ます。進軍の歌、露營の歌、陸軍の歌、愛國行進歌等殊に喜びます。

時局及軍事知識に就いて幼児の理解の程度を調べて見ました所、次の様な答を得ましたから御參考までに記して見ます。

尙調査人数は、男兒四十三名、女兒四十五名です。

第一問 何故支那と戦争してゐるでせう

支那が悪いから 四〇名

支那が悪いことをするから 一八名

支那の兵隊が悪いから 三名

日本の云ふことをきかぬから 四名

支那がはじめに向つて來たから 九名
支那が降参せんから 五名

日本が演習してゐたら支那が機關銃で撃ち出し友達が死んでもこらへてゐたがやつぱり撃つので敵の物見臺をぶちこわした 一名
知らない 一五名

第二問 戦争に行かない者はどうして居ればよいでせうか 二七名
良いお行儀をする 八名
慰問袋をつくつたり慰問したりする 四名

戦争の練習をする 四名
後から行く 二九名
働いてお手傳ひをする 一四名
勉強する 二名

紙や銀紙を大切に 二名
お金を使はず貯金する 五名
献金する 一名

お國で用心して自分の務をする 一名
仕事をして神様を拜む 一名

怠けず仕事をして天皇陛下には忠義をつくし、幼稚園では一生

懸命に色紙等をし學校でもよく勉強する 一名

第三問 飛行機にはどんなものがありますか

偵察機 三名。戦闘機 一〇名。爆撃機 一六名。水上機 二六名。旅客機 一四名。重爆撃機 一六名。神風號 一二名。赤十字機 一名。海軍機 二名。九一式戦闘機 一名。オートジャイロ 一名。飛行船 二名。プロペラの無いもの 二名。ピンとした強いもの 一名。一つ羽のものと二つの羽のもの 四名。支那の飛行機 一名。日本の飛行機 一名。分らぬ 十五名。

第四問 大きくなつたら何になりますか

男兒
兵隊 一八名。大將 七名。飛行家 四名。部隊長 二名。大尉 一名。陸軍大臣 一名。陸戦隊 一名。工兵 一名。

東郷元帥の様な偉い人 一名。乃木大將の様な偉い人 一名。少佐 一名。西郷隆盛 一名。海軍大尉 一名。齒醫者 一名。附屬小學校の先生 一名。ダットサ

ンの運轉手 一名。

女 兒

お母さん 一五名。お嫁さん 八名。お姉さん 七名。看護婦 三名。ねえや四名。幼稚園の先生 三名。小學校の先生 一名。級長 一名。えらい子 二名。女給 一名。

第五問 日本と仲良しの國がありますか。

支那を助ける國がありますか。

(日本と仲良しの國)

イタリー 三〇名。ドイツ 三〇名。滿洲國 二四名。フランス 四名。イギリス 二名。アメリカ 二名。ロシヤ 一名。分らぬ 二五名。

(支那を助ける國)

アメリカ 二三名。イギリス 一五名。ロシヤ 二六名。フランス 一四名。ドイツ 二名。分らぬ 三三名。

私達の願ふ所は唯、平靜な子供の生活の中に於て、自然に時局を認識せしめ、時局に適應するように保育して行き度いと思ひます。

今夏の文部省主催保育講習に就いて

從來隔年に東京に於いて開催せられてをりました文部省主催の保育講習が、今年も七月二十一日から二十七日まで七日間東京女子高等師範學校にて開かれることになりました。文部省當局のこの御配慮は、斯道發展の爲に誠に有難く、喜ばしいことと存じます。一人でも多數の方の御聴講を希望してやみません。

保育の問題を倉橋氏、手技を及川氏、保育の實際について新庄、菊池、清水の諸氏並に幼児の保健衛生を斯道權威者が各々擔當せられる由であります。

詳細については七月初旬の官報に發表されますし、本誌來月號にてもお知らせ致します。聴講希望の方で手續が後れるさいけませんから今から各地方廳へお申し込み置きになるのが御便利かと思存じます。